

## スズキ、インドネシア四輪車新工場の 開所式を実施



スズキ株式会社のインドネシア子会社「スズキ・インドモービル・モーター社」（以下 SIM 社）がジャカルタ東方ブカシ県の GIIC 工業団地内に建設していた四輪車組立の新工場（チカラン工場）が完成し、5月29日に開所式を執り行った。

開所式には、ラフマット・ゴーベル商業大臣、谷崎泰明インドネシア駐割特命全権大使らの来賓を迎え、スズキからは鈴木修 会長兼社長が出席した。

チカラン工場では、2014年2月よりエンジン、トランスミッションの組み立てを始めており、現在では内作率・現調率の向上のため鋳造、鍛造から機械加工、熱処理、組み立てまでを行っている。このたび四輪車の車体組み立て工場が完成し、小型車「エルティガ」の組み立てをタンブン工場（同、ブカシ県）より移管し、生産を開始した。四輪車組立工場の稼働により、エンジン、トランスミッション生産から車体組立まで、チカラン工場で一貫生産を行える体制となった。またチカラン工場の稼働により、スズキのインドネシアでの四輪車の生産能力はタンブン工場とあわせて約25万台となり、今後の市場動向に応じ順次生産能力を増強していく計画である。

### ●チカラン工場の概要

所在地： 西ジャワ州ブカシ県 GIIC 工業団地内  
敷地面積： 130万㎡ 建屋面積： 11万㎡  
生産車種： 小型車「エルティガ」

### ●SIM 社概要

社名： PT. SUZUKI INDOMOBIL MOTOR  
本社所在地： ジャカルタ市 代表者： 大石 修司  
資本金： 6,800万米ドル（スズキ出資比率93.4%）  
従業員数： 約4,700名  
生産車種： （四輪）「エルティガ」、「ワゴンR」、「APV」、「キャリイ」（フトラ）及び二輪車  
生産実績： 四輪車 15.8万台 二輪車 23.4万台（2014年度）